

幼児から小学生を主な対象とした、具体的な指導方法について解説します。

きつおん臨床 オンラインセミナー



吃音のある子どもに対する 言語訓練と環境調整

日程

第1回 2月13日 (日) 環境調整による介入①：幼児期

第2回 4月17日 (日) 言語訓練による指導①：吃音緩和法

第3回 6月19日 (日) 言語訓練による指導②：流暢性形成法

第4回 8月21日 (日) 環境調整による介入②：学童期

各回 13:15-13:30 受付 13:30-15:00 講義・質疑応答

* オンデマンド配信の予定はありません。

開催趣旨

私たち言友会（げんゆうかい）は、吃音のある人のセルフヘルプグループとして歩み始めてから、半世紀以上を数えました。その活動を通して、「**吃音があっても、豊かに生きる**」が実現可能であることに、自信を持っています。

ただ、そのためには伴走してくださる方の存在が欠かせません。そこで、今回は、言語聴覚士など支援者を主な対象とした、小児の吃音臨床に関するオンラインセミナーを開催することに致しました。

吃音のある子ども達が「**吃音があっても、豊かに生きる**」ことのできる社会を実現させるために、ぜひ皆様の力を貸してください。

参加費 各回参加 **3,000円** 全日程参加 **10,000円**

対象者 言語聴覚士、臨床心理士／公認心理師、教員、研究者、吃音に関心のある人

定員 各回 30名（予定）

申し込み方法 「<https://www.zengenren.org/セミナー事業>」にアクセスし、必要事項をご入力の上、お申し込みください。ご入金の確認後、後日お知らせする期日までにZoomミーティングの入室情報などをお伝えします。

講師紹介



6月・8月 **黒澤大樹** 先生
(太田総合病院附属太田西ノ内病院)

言語聴覚士。国立障害者リハビリテーションセンター学院卒業。幼児から成人まで吃音臨床に幅広く取り組んでいる。「ふくしま吃音懇話会」副代表。



2月・4月 **横井秀明** 先生 (なるみ吃音相談室)

言語聴覚士。関西学院大学大学院法学研究科博士前期課程修了。政府系金融機関勤務後、日本福祉大学中央福祉専門学校卒業。リハビリ専門病院、訪問看護ステーションを経て、現職。